

APEX CLUB

20/11

アペックス産業株式会社

第50号

『APEX CLUB』

発行 2020年11月1日(通算50号)
 発行所 アペックス産業㈱「APEX CLUB」編集委員会
 〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
 電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
 ホームページ <http://www.apex-sangyo.jp>
 発行人 元木 貢
 (編集委員) 彦根良雄、篠原綾乃、
 (事務局) 齋藤久美

ご用命・お問い合わせ先
アペックス産業株式会社
 電話 03-3455-6474
 FAX 03-3455-6558

〈詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください〉
 URL <http://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

ギャラリー

スポーツの肖像

岡沢 克郎

【略歴】

1945年横浜生まれ
 早稲田大学第1商学部卒
 出版社(学研)を経て1998年PHOTO SPORT 設立

【スポーツ取材歴】

春夏の高校野球甲子園大会
 ソウル、バルセロナ、アトランタ各五輪
 仏、日韓各ワールドカップ ほか

【著書】『ザ・甲子園』『甲子園夢伝説』

【写真集】『甲子園の恋人たち』
 『桑田真澄さよならメモリー』
 『全日本男子写真BOOK』
 『中田英寿日本代表全試合』ほか

【掲載誌】Number1008号、文藝春秋2020年9月号



わずかな休憩時間にKK。PL 球場。1984年7月上旬。



桑田真澄。甲子園大会以上に激戦の大坂大会決勝にて



桑田ら PL ナイン。高知商に KK のアペック本塁打などで勝利。準決勝進出。1985年夏。



筆者



1985年夏、vs 高知商 準々決勝。清原和博左翼上段へ140m弾。史上最大のアーチと呼ばれる。



1985年 vs 宇部商。清原和博が俺の優勝と叫んだ万感の夏。

●作者寸言●
 決定的瞬間を撮り逃す覚悟でアスリートの表情を追う。スポーツを記録するより記憶させる！これが私のスポーツ写真家としての生命線です。
 長年高校野球に取り組んできて、さらけ甲子園の星、白熱の試合の中で間違いなくその記憶の頂にあるのは一九八三年から八五年のKK伝説に彩られた今は無きPL学園、彼等に立ち向かったライバルたちの物語です。

むし籠

初めてのWEB会議

コロナ禍の影響により、3密回避が求められるなか、初めてWEB会議を行うことになりました。

まず、お客様より、新型コロナウイルスの殺菌消毒作業の打ち合わせをWEB会議という打診がありました。WEB会議を行うにあたり、事前にアプリをインストールして、お客様よりIDとパスワードをメールでいただきました。

これで事前準備完了。会議当日は会議の十分前からパソコンの前でスタンバイ。時間になり、アプリにIDとパスワードを入力。パソコンに先方の担当者が映し出され会議スタート。

と思いきや、こちらの声は届いていないので、先方の声が聞こえない。初めてなのでどうしたらいいのかわからず慌てていると、先方から携帯に連絡があり、IDとパスワードを再度入力するように指示があり、無事、先方の声が聞こえてきた。

会議は約一時間。資料も映像として映し出され、会議室で打ち合わせをしているのとほとんど遜色なく、充実した打ち合わせでした。



わざわざ現地に行く必要がなく、時間を有効に使えるため、今後の打ち合わせはWEB会議が主流になる

コロナ消毒体験記

コロナ禍の中で、当社にも多くの消毒依頼がありました。初めて参加した作業は、ダイヤモンド・プリンセス号から下船した乗客(全員陰性を移送した車両四台の消毒でした。

作業は駐在事務所の敷地内駐車場で行いましたが、駐在員が見守る中、防護服に着替えて作業が始まり、後日、帰国された方の中から陽性者が出たとのニュースがありました。作業は無事完了しました。

次に銀行からの依頼で、支店の行員が感染したため、ATMコーナーの消毒要請が即時対応で求められました。アルコールで人の手の触れる箇所を清拭しますが、消毒対象物がATM機と

事前に銀行側へ濃度七〇%以上のアルコールを使用してよいかATMメーカーへ確認を取ってもらいました。こうした消毒作業はまだ続くと思いますが、お客様の安心・安全のために頑張りたいと思います。

虫めがね

アフターコロナの仕事

政府は四月七日、東京はじめ七都府県を対象に緊急事態宣言を発令しました。

たまたまその日は新入社員を迎え、全体研修、全体会議を予定していましたが、全員が一室に集まる密を避けるため、書面による会議としました。

私たちの仕事は「essential work」ということで、業務は通常通りおこなっています。シロアリチームは在宅勤務とし、通勤時間を削減、負担が大幅に減りました。

また、幸い当社は二〇一八年三月からIT委員会を立ち上げ、社内デジタル化に取り組んできました。紙のスケジュール表をクラウドによるスケジューリングに移行、業務は直行直帰、事務は在宅勤務を取り入れ、極力リスクを避けています。

全員にノートパソコンを配布、WiFiを使ってサーバーにリモートアクセスが可能になり在宅勤務で仕事ができるようになりました。業界や学会の会議はZOOMになり、拘束時間が大幅に短縮されましたが、懇親会がなくなったのは寂しい限りです。コロナを契機に仕事の仕方が大きく変わろうとしています。

おじゃま虫 Q&A

カビ

※梅雨や夏の高温多湿の季節は、悩みとしてカビの発生が挙げられます。風通しの良い昔の住宅と違い、気密性が高い近代の住宅は快適な生活ができます。しかし一方で、温暖で湿度も比較的高いことに加え、換気が不足しがちで、カビの発生に適した環境となります。

Q 室内ではどんなカビがどこに発生しますか？

A 室内で見られるカビの一部は、結露の多い浴室、洗面所、台所、カーテン等に見られるクロカビ(クラドスポリウム)、押し入れ、畳、飲料水、ダストなどに発生するアオカビ(ヘニシリウム)、パン、まんじゅう、穀類などに発生するコウジカビ(アスペルギルス)などです。これらの汚染は基材を劣化させたり、アレルギーの原因になることもあります。

Q カビが発生したらどのように除去したらいいですか？

A カビが発生した部分を除去し、アルコールや市販のカビ取り剤などで殺菌してから修繕を行います。

Q どのようにカビの発生を予防したらいいですか？

A ホコリ、手垢、食べ物の汚れはカビの栄養源となるので、これらを除去し室内を清潔に保つことが大切です。押し入れ、畳、絨毯の下等普段目につかない箇所の清掃も大切です。湿度七〇%以上の多湿でカビは発育できます。浴室、台所、洗面台等の換気を十分に行い、湿度を除くことが大切です。また、空気が滞らないよう家具や壁の隙間を多めにとる等、通気にも心がけてください。